

令和4年3月号

# ゆう's ネット

つくり すこしずつ行こまいか



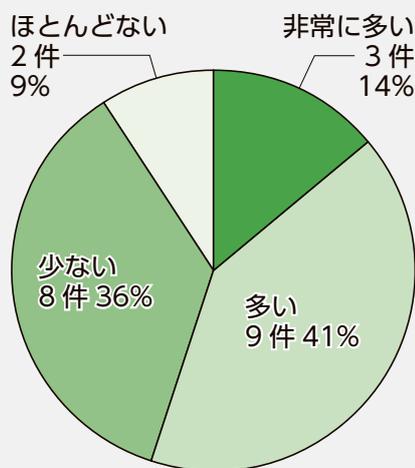
発行／恵那市青少年育成市民会議 第40号

## 見えていますか？ 街での、子どもたちの姿

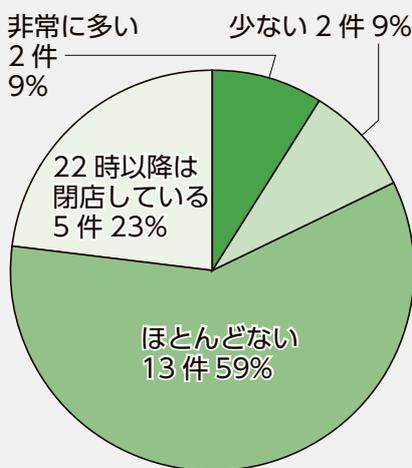
恵那市青少年育成市民会議では毎年、青少年健全育成のためのアンケートを実施しています。市内の18歳以下の青少年（小・中・高校生）が、どのような行動を取っているかを知り、生徒指導や警察の見守りなどに役立てることが目的です。青少年がよく立ち寄り可能性のある市内店舗などを対象に、青少年の行動について回答していただきました。ここでは、その結果の一部を紹介します。

アンケート期間：令和3年11月20日～12月6日 依頼店舗数：76 回答率：25%

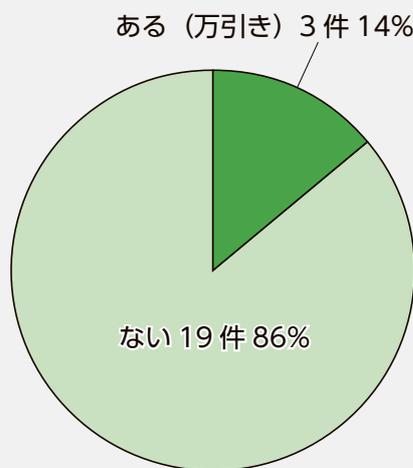
青少年の店への立ち寄り



22時以降の青少年の店への立ち寄り



ここ1年ほどで青少年による被害を受けたことがあるか



- ▽気になるところ
- スマートフォンで商品の中を撮影する。（書店）
  - 商品の無断撮影、ネットとの価格比較、フリマアプリ用下調べ、他店価格調査。（玩具店）
  - 店内のコンセントを無断で使用して充電する。（スーパーマーケット）
  - 高校生がレジ前にたむろして、別のお客様が通る隙間がない。（スーパーマーケット、書店）
- ▽青少年の様子について
- 近隣の高校生は店に長居する傾向もなく、きちんとお礼が言える子が多い。（コンビニエンスストア）
  - セルフレジに手間取るお年寄りを手伝っていた。（書店）
  - 列車内はマスクを着用しているし、大きな声で話をする高校生はいない。列車運転士へ「ありがとうございます」と言ってくたさる高校生が多い。駅待合室はゴミのポイ捨てもなく綺麗。（鉄道会社）

このアンケート結果は、店名など個人情報をふせた上で、市内の小中学校や警察署などに提供させていただき、生徒指導や警察の見守りなどに役立てます。

11月

20日

## 子ども・若者育成支援強調月間 街頭啓発活動を行いました



11月は、内閣府・青少年育成県民会議・青少年関係団体の主唱による「子ども・若者育成支援強調月間」です。恵那市青少年育成市民会議では毎年、ティッシュやチラシなどを配布する街頭啓発活動と、公園や道路・河川敷等のごみ拾いを、市内高校生の有志の方と一緒にしています。

今年度も、11月20日（土曜日）に、市内の大型スーパーマーケットなどの出入口をお借りして啓発活動を行いました。参加者は、少年センター指導員である恵那保護区保護司会や学校教諭、PTA役員などの皆さんと、有志の市内高校生ボランティアの方々などです。合計75人が参加しました。

11月が強調月間であることをPRしながら、青少年支援の啓発チラシが入ったエコバッグを配布しました。

また、街への感謝を込めて、近隣の歩道などのごみ拾いも行いました。



### 参加者の感想

高校生ボランティアとして参加した、  
恵那南高等学校1年生 みわゆめか 三輪優明花さん

「街頭啓発活動に参加してすごくよかったです。こういう啓発活動をして皆さんに知ってもらうことが大事なんだと知ることができました。次回もぜひ参加したいと思います！」

12月

16日

## 自治会青少年育成推進員研修会を行いました

12月16日（木曜日）、恵那文化センターで自治会青少年育成推進員研修会を開催し、135人が参加しました。

第一部は、「育じい」に聞く！子育て・孫育て・他孫（たまご）育て」と題した講演会を開催しました。

講師は、循環器科の専門医で、夫婦のメンタルケアなどにも取り組んでいる、石蔵文信先生。3人の孫がいる石蔵先生は、自身を「育じい」と自称。「孫育てをするために早期退職した」「医者より子育ての方がしんどい」と、自身の体験を交えたユーモアたっぷりの話を展開しました。



### ●育じいのメリット

「子育てで疲れると、快食快眠生活になる。頭を使うので認知症予防につながるし、妻への感謝の気持ちも生まれる。良い事づくめ」

### ●育じいのコツ

「手は出すが口は出さない」「スーパーサブに徹する」「娘に甘く」

また、同居20年以上・70歳前後の熟年離婚が増えているとのデータを示し、「夫の依存が妻に負担をかけている。解決法は、料理のできる男になること」とアドバイス。子どもが自立する年になっても、料理ができると夫婦の会話が途絶えないし、感謝し合う関係になれると熱弁しました。会場の女性からは深くうなずく姿が、男性からは苦笑いの表情が多々見受けられました。



石蔵先生のウェブサイト  
「孫育のグチ帳」  
<https://mago-iku.com/>

第二部では、地域の実践発表が行われました。

長島町青少年育成町民会議は、小嶋良照運営委員長が「家庭・地域・仲間づくりを大切にしたい体験活動を通し、青少年の社会力の育成を図る」と題して発表。

今年で20回目となる「おもしろワークショップ」や「ふれあい交流広場」、「ボッチャ普及活動」の取り組みを紹介しました。



笠置町青少年育成町民会議は、保母重徳会長が発表を行いました。

恵那北小学校の「花壇の花作り」「ふるさと体験」「ポーランド応援」「カヌー体験」「千田川遊び」「音楽鑑賞会」「ドローン撮影」を紹介。また、恵那北中学校の「ひまわりプロジェクト」「カヌー体験」などの活動支援について、たくさんの写真を交えて紹介しました。

# 第19回 下田歌子賞 受賞作品が決定

第19回下田歌子賞の受賞作品が決定しました。

下田歌子賞とは、1854年に美濃国岩村藩（現在の岩村町）で生まれた、わが国の女子教育の先駆者で実践女子学園創設者の下田歌子先生をふるさとの先人として顕彰しようと創設された公募賞です。

今回の下田歌子賞は「志～今、伝えたいこと～」をテーマに、エッセイと短歌を募集。それぞれ小学生、中学生、一般の3部門に分け作品を募集したところ、エッセイは1,365点、短歌は3,015点の応募がありました。

エッセイは、作家の童門冬二さんや東洋大学名誉教授の吉田公平さん、女優で元宝塚歌劇団の初風緑さん、実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長の難波雅紀さん、月刊誌『歴史街道』特別編集委員の寺田昭一さん、小坂喬峰恵那市長が審査。短歌は、市民投票を経て受賞作品が決定しました。

ここでは、受賞者のうち市内小中高生の方を紹介します。

## 志 ～今、伝えたいこと～

### エッセイの部

#### 小学生の部

##### 優秀賞

いじめや差別に  
対しての志

山岡小学校6年  
板垣 沙歩



大工になるために

岩邑小学校6年  
河合 捺月



地域の  
お祭りと私

山岡小学校6年  
小木曾 詩



##### 佳作

強い気持ち

山岡小学校6年  
伊藤 瑠美



動物の未来

山岡小学校6年  
梅村 千景



じゅう医になるため  
に努力すること

岩邑小学校5年  
佐伯 奏音



三年でがんばっている  
ことがんばりたいこと

武並小学校3年  
鈴木 康介



将来のゆめを  
かなえるために

山岡小学校6年  
原田 俊司



下田歌子先生肖像写真  
(実践女子大学図書館所蔵)

#### 中高生の部

##### 最優秀賞

心のふるさと

恵那高等学校3年  
瀬瀬 ほか



##### 優秀賞

明日の私の  
ために

岩邑中学校3年  
小栗 光



夢への道のり

岩邑中学校1年  
深萱 雅楽



##### 佳作

僕にできること

山岡中学校3年  
糟谷 暁



### 短歌の部

#### 小学生の部 入選

ぼくはみる にじゅうねんご いまよりも ごみをへらした あおいちきゅう……………岩邑小学校3年 安藤 響起  
岩村の 自然守るよいつまでも 田園風景 ぼくのふるさと……………岩邑小学校4年 市岡 蒼土  
ありがとう かぞくにもらった あいじょうを たくさんかえし それをうけつぐ……………大井第二小学校5年 中林 真絆  
憧れの 母を見てきた 十年間 早くなりたいたい 立派な保育士……………三郷小学校6年 古田 もも

#### 中高生の部 入選

「ありがとう」 たった五文字に すくわれる あなたの役に 私は立ちたい……………上矢作中学校3年 小木曾 結菜  
大丈夫 素顔で笑う あの夏に きっと戻れる あともうすこし……………恵那西中学校2年 中村 咲絢  
ありがとう 伝えておこう 心から 感謝の気持ち 今日 是 今日だけ……………恵那東中学校2年 春名 真琴

お問い合わせ

恵那市青少年育成市民会議 事務局 恵那市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL 0573-26-2111(内線476)